

## I 目的

トリメチルアミンとBio-NX消臭剤の消臭実験を行う。－  
被実験材料－

- ・トリメチルアミン
- ・Bio-NX消臭剤

－テスト機材－

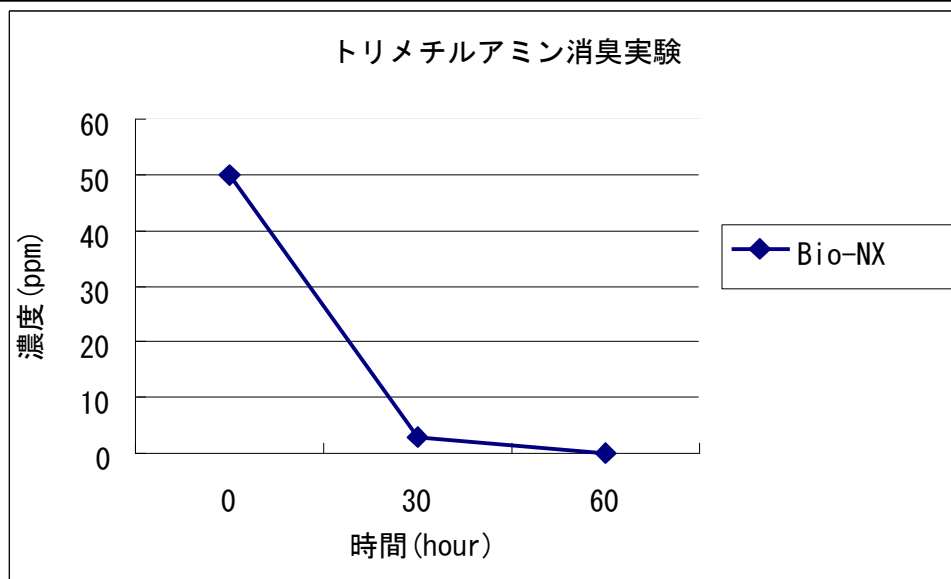
J I S K 0 8 0 4 検知管式ガス測定器

### 実験方法

トリメチルアミンを200 $\mu$ lとり、直接9cmのろ紙に吸着させシャーレ上に置き密閉デシケータ中（容積：5リットル）に入れた。別のシャーレに消臭効果の期待される物質を乗せ、上記デシケータに入れデシケータ中の時間に伴うトリメチルアミンの濃度の変化をGASTEC気体検知管を用いて調べた。

実験室内の温度は15 $^{\circ}$ C、デシケータ内部のトリメチルアミンの初期濃度は50ppmであった。

## II 実験結果



(J I S K 0 8 0 4 検知管式ガス測定器による)

## III 考察

トリメチルアミン初期濃度50ppmであったものが、30時間後には97.5%が分解し60時間後には、濃度は0ppmとなった。